

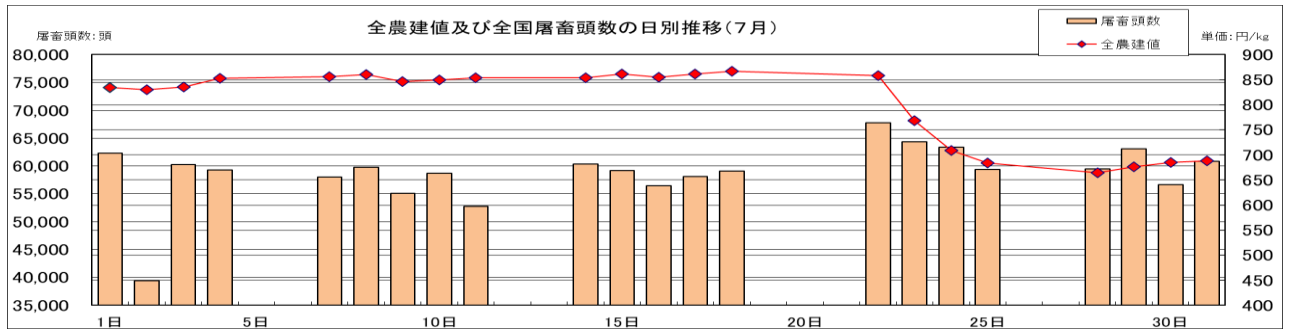
肉豚インフォメーション（7月）

●7月の動向

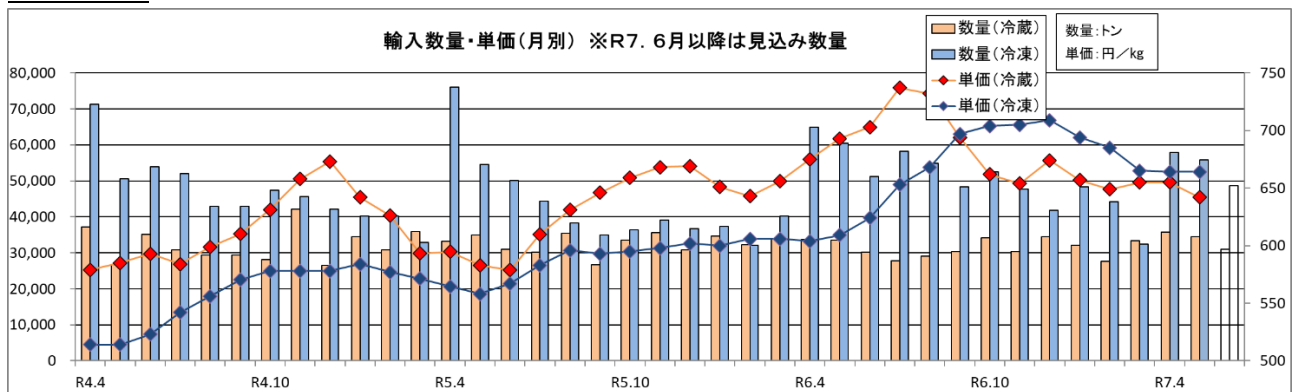
2025年7月（税抜）	2024年7月（税抜）
802 円/kg（31 円高）	771 円/kg

※全農建値

7月は、猛暑の影響により生育不良が深刻化し、屠畜頭数が6万頭を下回る日も多く需給が逼迫した。枝肉相場は高値を維持し、18日に867円（税抜）と記録的な高値を付けた。

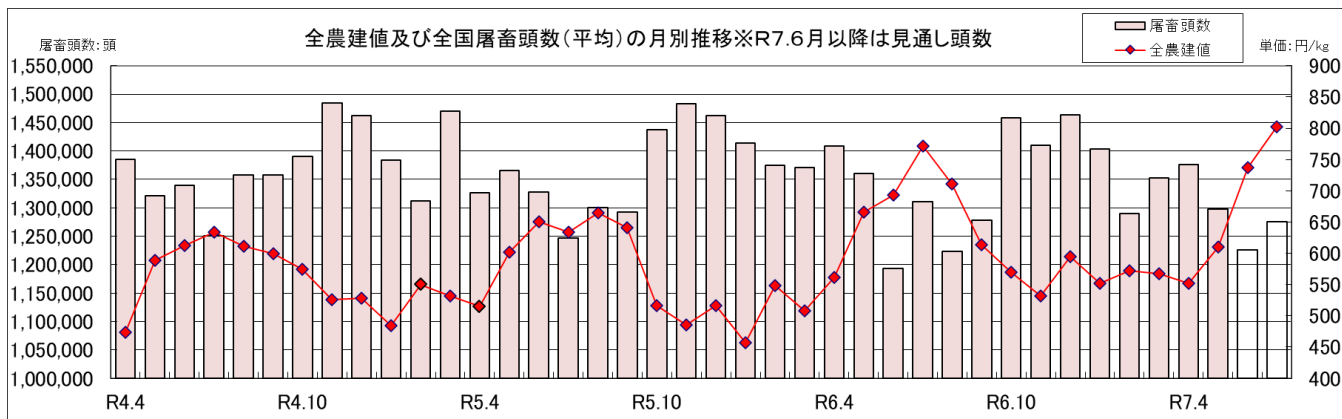


●輸入動向



●8月の動向

8月の出荷頭数については、前年同月をやや上回ると予測。



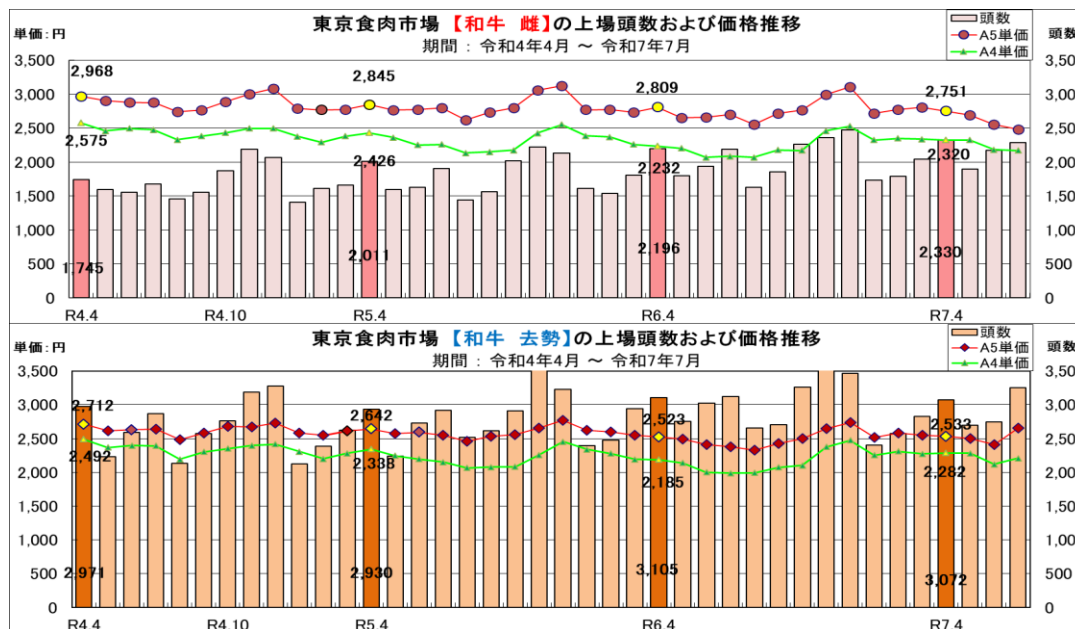
夏休み時期で、学校給食需要がなくなるものの、厳しい暑さが続くことによる頭数不足は避けられず堅調な引き合いを維持することから、高値の相場展開となる見込み。

全農建値（税抜）予測レンジは700円～750円とする。

肉牛インフォメーション（7月）

●7月の動向

消費者の節約志向に選挙期間も重なったことから、和牛は良質なものを除いて全体的に弱気配の傾向であった。交雑は代替え需要が強く堅調な相場観になった。



●8月の動向予測

東京市場は夏季休業が6日間と前年よりも1日長いため、8月1週目までは手当て買いが入ると思われるが、盆明け後は和牛・交雑ともに軟調な相場になると予想する。

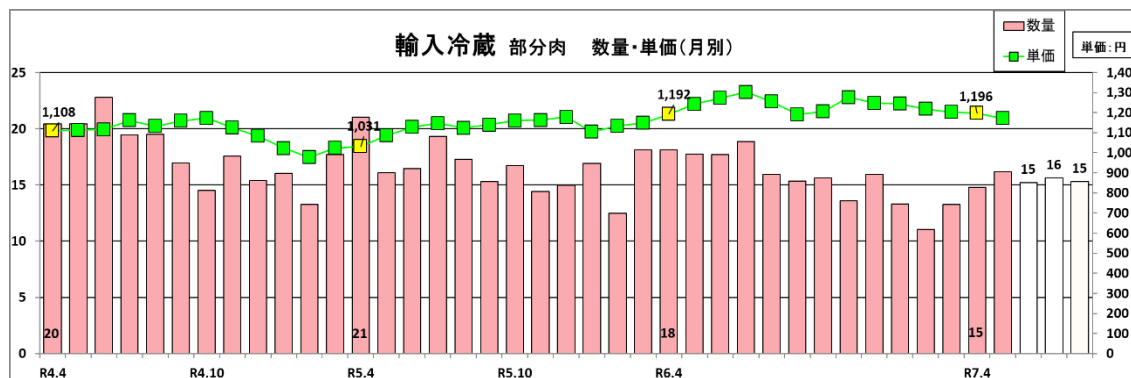
7月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,350円（税込み） A4等級 2,050円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み） B3等級 1,550円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品は、国内需要が低調にある中、為替相場や現地価格の高止まりの影響等により、7月は、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月を大幅に下回ると予測する。8月は、主要輸入先のうち米国産の減少が見込まれること等から、前年同月をやや下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。（ALIC牛肉の需要予測について 7月29日）



食肉インフォメーション（7月）

●7月の動向

○牛肉

例年、夏休みの行楽需要でBBQ用焼き材の消費が増加するが、今年は猛暑の影響で需要が低迷した。また御中元ギフトによるロイン系の需要増加が期待されたが、米価格の高騰により米の贈答にシフトし販売は伸び悩んだ。

○豚肉

7月は、猛暑の影響による頭数不足から、豚枝肉相場が記録的な高値で推移し、末端消費は伸び悩んだ。涼味商材として豚しゃぶ向けのバラなどの需要も期待されたが、物価高騰による節約志向の高まりから販売の中心はウデ・モモなどのスソ物となった。

●8月の動向予測

○牛肉

8月前半は旧盆需要によりバラ・肩ロース等の焼き材の販売増加が見込まれる。後半は例年販売が鈍化する時期だが、焼肉の日(8月29日)に合わせた販促によるスライス商品の需要拡大が期待される。

交雑牛は、出荷頭数の少ない乳用牛の代替として需要が見込まれる。

○豚肉

夏休みに入り学校給食は休止するが、依然として消費者の節約志向が強く、ウデ・モモなどのスソ物中心の販売と予想される。

8月も国産豚枝肉相場は高値が続く見通しであり、輸入ポークの需要は堅調に推移する見込み。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和7年6月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和5年度6月	25,646	8,568	31,396	20,800	9,183	5,723	101,316
令和6年度6月	22,545	8,036	35,687	18,555	9,572	5,485	99,880
令和7年度6月	22,851	7,778	36,060	15,937	7,317	3,876	93,819
増減（R6-R7）	306	-258	373	-2,618	-2,255	-1,609	-6,061
対比（R5-R7）	89%	91%	115%	77%	80%	68%	93%
対比（R6-R7）	101%	97%	101%	86%	76%	71%	94%